みどりの
ニュースレター

21世紀 地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

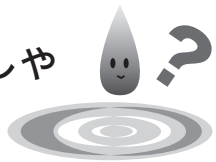
1
2007
No.164

特集：地球環境問題クイズ

家族と、同僚と、友達と
学校で！職場で！

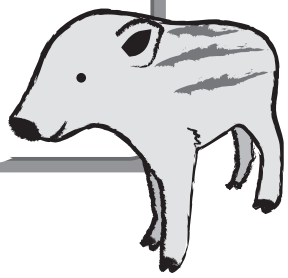
問題です。

地球上にある水のうち、人間が利用しやすい淡水の量はどれくらいでしょう。



1．0.8%
2．0.08%
3．0.008%

答えは
どれかな？



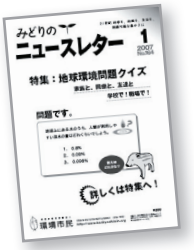
詳しくは特集へ！

特定非営利活動法人
環境市民
Citizens Environmental Foundation - since 1992 -
http://www.kankyoshimin.org

¥200
収益の一部は環境市民の活動資金として使わせていただきます。なお、会員には毎月無料配布しています。

みどりのニュースレター

No.164
2007年 1月号
Citizens Environmental Foudation



今月の表紙……

あけましておめでとうございます。まずは地球環境問題クイズで環境への関心をさらに高めましょう。

CONTENTS

コレため！
新年のご挨拶にエコな気持ちを込めて …02

特集：地球環境問題クイズ
…03-08

みんなでエコろう！ 行事案内
みどりのニュースレター価格変更について
…09

とれたて！ 環境市民
「グリーンコンシューマーが変えるあなたの暮らし」開催
おすすめ映画情報
2007 年度みどりのニュースレターのテーマ
ミーティングカレンダー
旬のぷちメモ
講演のご案内
…10-11

地球のなかま
第 17 回 イノシシ―― 人の近くに暮らすけもの【前編】
ハンガリーでイノシシに出会う
…12

青き星 碧い風
第１０回 日本社会の根本的病理
…13

新 みどりの瓦版
データで見る環境市民
SKIP の！エコファイター劇場
今月のありがとう
新入会員インタビュー・新入会員・寄付
…14

1/ 環境市民
田中 友美子さん
…15

プロジェクト寄付のお願い 他…16

コレため！ コレ、ためしてみました。

毎月エコロジカルなライフスタイル・グッズを
スタッフが体をはって実践レポートします！

File no.18
新年のご挨拶にエコな気持ちを込めて

文／ニュースレター編集部　吉田 佳代

新年は親戚や友人に、「今年もよろしくお願いします」という挨拶に出かける機会がたくさんあります。今年、あなたはどんな人にどんな贈り物を持って訪ねますか？

贈り物は工夫を凝らした包装がなされています。今年の新年の贈り物は、贈る相手を考えて色柄やサイズを選び、風呂敷で包んでみてはいかがでしょうか？

風呂敷の歴史は古く、奈良時代より布で包む文化が始まりました。そして室町時代には将軍足利義満が大湯殿で大名たちを風呂に入らせたところ、脱いだ衣服を絹布に包み、他の人の衣服にまぎれないようにしたとの記述があり、この頃から風呂と包みものの関係が顕著になったようです。

そんな歴史をもつ風呂敷で、早速お菓子の箱を包んでみました。不器用な私でも一度練習するだけで写真にあるように美しく包むことができました。隣り合う二つの角を残し、箱を包み、最後に残していた角で結ぶだけ !!　とっても簡単です。上にはリボンがついているみたいですね（写真）。包装紙やリボンを使って包装する時よりごみも出ません。また、風呂敷で包まれた贈り物を受け取る時は紙袋で手渡す時とは違った風流な空間も生み出せるはずです。

エコを意識した行動で、自分の身近な人をも幸せにできる。そんなヒントが風呂敷には隠されているかもしれません。

日本風呂敷協会 HP
http://furoshiki.homepage.jp/01tutumi/index.html
ふろしき研究会 HP
http://homepage2.nifty.com/furoshiki_sg/index.html

NEWS LETTER FEATURED

特集：地球環境問題クイズ

家族と、同僚と、友達と
学校で　職場で！

今回の特集は「地球環境問題クイズ」さて、そのねらいは？

環境問題はとても深刻になっています。かと言って、眉間にシワを寄せて学んでも疲れるばかり。深刻な問題ではありますが、肩の力を抜いて学びたいと思います。

今回、クイズで地球環境の現状を学べる材料を提供いたします。読者の皆さんの学習だけでなく、皆さんが主催される学習会などで、ぜひご活用ください。

「地球環境問題クイズ」活用法

Step 1　まずは読者の皆さんが楽しんでください。

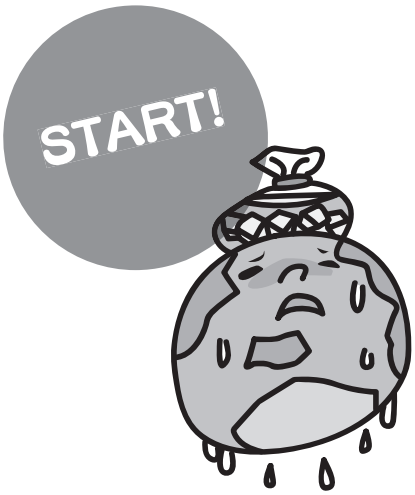
Step 2　地域の学習会などで活用してください。

この特集は環境市民事務局長 堀 孝弘の講演をもとに構成しました。

※引用や転載をする場合は必ず出典を明記してください。

Q 問題です

このページはワークショップにもお使いいただけるよう構成しています



Q.1

【地球温暖化のスピード】

地球環境問題のなかでも、最も解決が難しいと言われているのが「地球温暖化」です。おもに人間の経済活動によって排出される二酸化炭素などの「温室化効果ガス」の影響で、地球全体の平均気温が上昇し、このままだと約 100 年後には最大 5.8℃上昇すると言われています。※1

そこで問題です。今から２万年前、最後の氷河期（ウルム氷期）の最も寒かった時、地球の平均気温は今より約 8℃低かったと言われています。では 8℃低かった気温が、およそ何年かかって現在の平均気温（約 15℃）になったでしょうか。

1．約 5,000 年
2．約 7,000 年
3．約 10,000 年

※1　IPCC第三次評価報告書

ウォーミングアップ！

Q.2

【生き物の絶滅】

近年、生物の絶滅ペースは、人間活動の影響もあり加速しています（以下、すべて概数）。

1 万年前は、100 年に 1 種
1000 年前は、10 年に 1 種、
1600 年～ 1900 年の間は、4 年に 1 種
1900 年～ 1960 年、1 年 1 種
1960 年～ 1975 年、1 年に 1,000 種※2

では、現在（1975 年以降）は、1 年におよそ何種が絶滅しているでしょうか。

1．1 年に約 5,000 種
2．1 年に約 15,000 種
3．1 年に約 40,000 種

※2　EIC環境ネット国立環境研究所資料より

解答欄

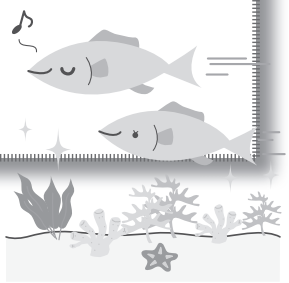
	答え
Q.1	
Q.2	
Q.3	
Q.4	
Q.5	
Q.6	

Q.3

【地球の水】

地球上の水のうち、大部分（96.5%）は海水です。塩湖も含めて 97.5%が塩水です。淡水は、わずか 2.5%ですが、その大部分は南・北極の氷です。川や湖、沼など、人間が利用しやすい淡水は、海水も含めた地球の水全体からみて、どれぐらいでしょう。

1．　0.8%
2．　0.08%
3．　0.008%



Q.5

【オゾン層】

原始地球の大気に、酸素はほとんどありませんでした。酸素がなかったので、オゾン層もなく、地上は有害な紫外線が降り注ぐ危険な場所でした。

植物が出現し、光合成によって酸素を水中や大気に送り出し、やがて酸素が高度２万 m もの高空に達してオゾン層がつくられ、ようやく地上が生物にとって安全な場所になりました。では、植物の祖先の出現から生物が上陸できるまで、どれだけの期間が必要だったでしょう。

1．約 27 億年
2．約 32 億年
3．約 46 億年

まだまだ
これから

難しいかな？

もう少し！

あと一問

Q.4

【砂漠化の進行】

1997 年の国連砂漠化防止会議（UNCOD）での国連環境計画（UNEP）報告によれば、毎年、世界で 600 万 ha（ヘクタール）の土地が砂漠化しているということです。

さて、この 600 万 ha の例えとして、以下のどれが適当でしょうか。

1．京都府の面積とほぼ等しい
2．近畿地方の面積とほぼ等しい
3．近畿と中国地方をあわせた面積にほぼ等しい

Q.6

【フロンガスの影響】

オゾン層を破壊し、温暖化も促進する化学物質として、フロンが有名です（正式にはクロロフルオロカーボン、CFC と略されます）

特定フロンと呼ばれるフロン 11 やフロン 12 などは、すでに製造が禁止されていますが、代替フロンとしてよく使われている HFC134a は、どのような特性をもっているでしょうか。※3

1．オゾン層にも、温暖化にも悪影響がある
2．オゾン層に影響はないが、温暖化には悪影響がある
3．オゾン層にも、温暖化にも悪影響がない

※3　オゾン層保護法では、特定フロンとして、フロン11、12、113、114、115が指定されている。1996年以降国内では全廃。

作成：環境市民

A 答えと解説

Q.1 【地球温暖化のスピード】

答．3　約 10,000 年もかかっています。

1 万年の間には、何度か寒冷期があるなど紆余曲折がありました。それでも単純に 100 年単位で平均すると 0.08℃の上昇[※4]。「100 年で 5.8℃の上昇」はその 70 倍以上のペースです。このスピードに、あらゆる生物、食料生産、経済活動が対応できません。「地球温暖化」と言っても、全体的に暖かくなるのではなく、気候が滅茶苦茶になるわけで、「気候変動」という表現が実態に近く、世界的にはこちらの方がよく使われています。

身近な例でも、京都では 1953 年以降約 50 年間で、ソメイヨシノの開花が 5 日早くなった、また、イロハカエデの紅葉が 2 週間おそくなっている、などの報告があります。[※5]

※4　東京大学気候システム研究センター 住 明正教授著『地球温暖化の真実』（ウェッジ）1999 年

※5　気象庁『20 世紀の日本の気候』2002 年

Q.2 【生き物の絶滅】

答．3　1 年に約 40,000 種

1975 年以降、世界の生物絶滅は、年に約 40,000 種と推定されています。[※6]

これは 1 日に 110 種以上で、13 分に 1 種絶滅している計算になります。この中には、人間に発見される前に絶滅している生物もいます。

国際自然保護連合（IUCN）は 1960 年から、絶滅に瀕している種の調査を開始し、その結果をレッドリストとしてまとめています。 2000 年現在、特別危惧種として、動物 180 種、植物 1,014 種が指定されています。

・特別危惧種　5 年以内に絶滅する確率が 50%以上
・絶滅危惧種　20 年以内に絶滅する確率が 20% 以上
・危急種　100 年以内に絶滅する確率が 10%以上

日本の環境省は、国内の鳥類 42 種、哺乳類 31 種、爬虫類 7 種、両生類 5 種、淡水魚類 58 種、昆虫類 62 種、維管束植物 1,024 種を絶滅危惧種（IUCN の特別危惧種と絶滅危惧種にほぼ相当）に指定しています。

※6　環境省自然環境局生物多様性センター資料他

Q.3 【地球の水】

答・3　0.008%

川や湖、沼の淡水は、地球全体の水のうち 0.008％しかありません。河川水が 0.0002%、湖水（淡水）が 0.007%、沼地の水が 0.0008%[※7]、これらをあわせて 0.008%です。このうち「安全に利用できる水」となると、さらに限られたものになります。世界の人口が増加しているなか、「安全に利用できる水」をどのように確保し分配するか、非常に重要な問題になっています。そのため、21 世紀を「水の世紀」と形容する人もいるくらいです。

※7　I,A.Shiklomanov,Assessment of Water Resources and Water Availability in the World, 1996年(世界気象機関)

地球の水 比率

水の種類	量（千 L）	内訳（千 L）	全水量に対する割合(%)	全淡水量に対する割合(%)
●塩水	1,350,955		97.5	-
海水		1,338,000	96.5	-
地下水のうち塩水分		12,870	0.94	-
湖水のうち塩水分		85.4	0.006	-
●淡水	35,029		2.5	100
極地などの氷		24,064	1.74	68.7
地下水のうち淡水分		10,530	0.76	30.1
永久凍結層地域の地下の水		300	0.022	0.86
土壌中の水		16.5	0.001	0.05
河川水		2.12	0.0002	0.006
湖水のうち淡水分		91	0.007	0.26
沼地の水		11.5	0.0008	0.03
生物中の水		1.12	0.0001	0.003
大気中の水		12.9	0.001	0.04
合計			100	-

地球のすべての水に対して **0.008%**

資 料：I,A.Shiklomanov,Assessment of Water Resources and Water Availability in the World, 1996 年 (世界気象機関)

Q.4 【砂漠化の進行】

答・3　近畿地方と中国地方をあわせた面積にほぼ等しい。

近畿地方と中国地方をあわせた面積≒590万ha。つまり毎年、伊吹山や木曽川から関門海峡までとほぼ等しい土地が、世界のどこかで砂漠化しているわけです。別の例えをすると、日本国内の全耕地面積が471万ha[※8]ですので、それよりも1.2倍広い面積が毎年砂漠化していることになります。また、国連環境計画（UNEP）報告によれば、全陸地約149億haのうち、およそ4分の1にあたる約36億ha の土地が砂漠化の影響を受けているといいます。

※8　農林水産省「食料需給表」,「耕地及び作付面積統計」平成16年

Q.5 【オゾン層】

答・1　約27億年

光合成をする生物の誕生から地上に生物が進出できるまで約 27億年かかりました。約32億年前、最初の光合成をおこなう生物（シアノバクテリア、植物の祖先）が誕生し、酸素を放出し始めます（二酸化炭素から酸素を分離）。植物が放出する酸素は、水中だけでなく大気中にも広がりました。大気に広がった酸素が成層圏に達し、オゾン層ができ、有害な紫外線Bの大部分を吸収してくれるようになりした。

そしてようやく今から約5億年前、地上に生物が進出できるようになりました。ちなみに46億年というのは地球の年齢です。

●生物の地上進出……
約5億年前、コケ植物、シダ植物が地上に進出
約4億年前、昆虫の祖先が地上に進出
約3億6千年前、脊椎動物が地上に進出

Q.6 【フロンガスの影響】

答・2　オゾン層に影響はないが、温暖化には悪影響がある。

HFC134aは、オゾン層には影響を与えないが、温暖化は促進します。HFC134a（ハイドロフルオロカーボン）は、代替フロンの代表格で、自動車のエアコンや冷蔵庫、業務用冷凍庫の冷媒、発泡剤としてよく使われています。HFC134aは、オゾン層破壊係数は0ですが、温暖化係数は1,300もあります。[※9]

ルームエアコンによく使われるHCFC-22（ハイドロクロロフルオロカーボン）は、温暖化とオゾン層双方に悪影響があります（モントリオール議定によって2020年全廃が決められている）。

オゾン層保護の国際的枠組としてはウィーン条約（1985）、モントリオール議定書（1987）があります。これによってフロン類の製造・使用の禁止・制限等が定められ、日本でもこれらに準拠してオゾン層保護法（1988）やフロン回収・破壊法（2001）が制定されています。

※9
オゾン破壊係数……フロン11の単位重量あたりのオゾン破壊効果を1として比較した値（相対値）（フロンガスの規制のための国際枠組み〈モントリオール議定書〉の規定による）。

温暖化係数……二酸化炭素の単位重量あたりの温暖化効果を1として比較した値（相対値）。国内では、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第4条で規定されている。

今回のクイズから、地球環境問題の深刻さをあらためて感じていただけたと思います。しかし、なかには「日本は省エネをすすめてきた国で、様々な公害対策も功を奏し、国内の空は青く山はどこも青々とし砂漠もない。また、世界で水不足が起ころうと、島国の日本は必要な水は自国内でまかなっている」と考える人もいるかもしれません。

今の日本は世界の環境問題にとても深いつながりがあります。私たちの暮らしとの関わりもおおいにあります。どのようなつながりがあるか分野ごとに見ていきましょう。

作成：環境市民

地球環境問題と日本の関係

【地球温暖化】

地球温暖化の要因として、二酸化炭素をはじめとした地球温暖化効 果ガスの増加があげられますし、背景には、エネルギーの大量消費があ ります。

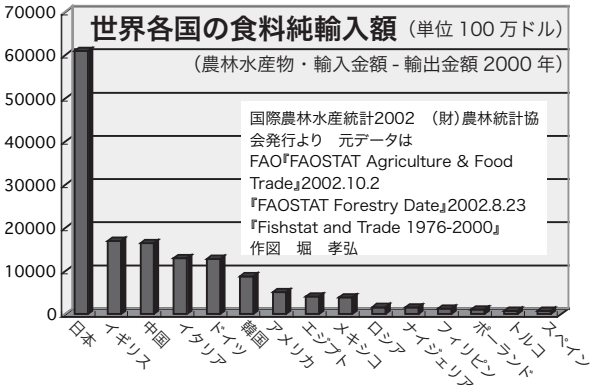
日本の最終エネルギー消費量（原油換算）は、1990年度の３億5900万KLから2005年度の４億1500万KLへと16%も増加しています。※10 1997年採択された京都議定書で削減が定められている温暖化効果ガス6種（二酸化炭素 やメタン、フロン類など）全体でみた場合、2004年は基準年比※11、7.4%増加しています。※12 二酸化炭素排出量 だけでみても1990年度から2005年度にかけて12.4%増もしています。※13

※10　資源エネルギー省「総合エネルギー統計」各年度版
※11　1990年と1995年を基準年とするものがある
※12　「日本国温室効果ガスインベントリー報告書」温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)編　2006年
※13　※10と同じ

【砂漠化】

砂漠化の要因として、森林伐採や農地や放牧地の過剰利用（表土流失）などがあります。日本との関係で言えば、極端に低い木材自給率（20%）※14や世界第２位の木材輸入※15、先進国最低の食料自給率（40%）※16、世界最大の食料輸入※17などがあり、この問題と日本はとても深い関係があります。

※14　林野庁「木材需給表」（平成17年）
※15　金額ベースで丸太材、製材、合板あわせて世界第2位。
　　林野庁「木材需給表」（平成17年）
※16　農水省「食糧自給率の推移」（平成17年度）
※17　農林水産物合計で約7兆円。
　　財務省「貿易統計」（平成17年度）



【生物の絶滅】

生物の絶滅の要因として、森林減少や野生生物の乱獲などがあげられます。森林減少について前記のように日本は深い関係があります。野生生物の保護について、国際商取引を規制したワシントン条約がありますが、同条約に基づき正規の野生生物の輸入件数だけでも年間約３万５千件※18で世界第2位 。国民一人当たりの輸入件数では世界第1位になります。この中には、届け出義務のない一部の昆虫類や魚類などは含まれていません。

※18　財務省「貿易統計」

【水問題】

島国である日本も「水」を輸入しています。直接輸入として、例えば ミネラルウォーターの輸入量は、2005年度、10年前の倍にあたる4億700万Lに達しました（1995年度は２億リットル弱でした）。※19

それだけではなく、「間接水」や「仮想水」と呼ばれる「見えない水の輸入」が非常に多くあります。間接水（仮想水）とは、日本が輸入している農産物、畜産物、工業製品などを、国内で生産した場合に必要な水の量を計算したものです。

東京大学生産技術研究所　沖（おき） 大幹（たいかん）助教授らの研究によると、1kg の栽培に必要な水は、トウモロコシ約２トン、小麦約4.5トン（精製含む）、米約８トン（精製含む）、また、牛を飼育し可食部を1kg増やすのに、穀物13kg程度が必要ということです。これらのデータをもとに輸入にともなう間接水を総計すると、輸出分を差し引いても2000年で年間640億トンになります。※20 この量は日本の国内農業に用いる灌漑用水590億トンよりも多いのです。※21

※19　財務省関税局「日本貿易統計資料」
※20　東京大学生産技術研究所 沖 大幹助教授等のグループが試算した「世界の水危機、日本の水問題」（2003年）より。
※21　農水省「食料需給表」（2000年）

これらのことから、私たちの暮らしや社会のあり方と世界の環境が、深く結びついていることに気付かれたと思います。問題の大きさに眼をそむけたくなりますが、グリーンコンシューマー活動をはじめ、私たちにできることは多くあります。環境市民は自ら活動実践するとともに、多くの情報を届けていきます。

みんなでエコろう！ 行事案内

2007
A Happy
New Year

問合せ・申込み
環境市民 東海事務所
http://www.kankyoshimin.org/tokai
【TEL/FAX】 052-521-0095
【IP 電話】 050-3604-6182
【E-mail】tokai@kankyoshimin.org

環境市民 nagoya cafe

運営に関するミーティングを行います。どなたでも参加できます。ぷちボランティアも歓迎します。お気軽にどうぞ。
今年から毎月 11 日（わんわん）の夜を予定しています。

と　き ： 1月11日（木）午後7:00から9:00
ところ ： 環境市民 東海事務所
参加費 ： 無料
申込み ： 必要

山川里海のネイチャーツアーin犬山

冬の城下町と里山を訪ねる予定です。
寒さ対策と暖かい飲み物を忘れずにお持ちください。
詳細はメールにてお問い合わせください。

と　き ： 1月20日（土）午前10:00から4:00
参加費 ： 500円
申込み ： 必要

ぽっとらっくぱーてぃ

マイカップと一品を持ち寄り、楽しいひと時を過ごします。おひとりでも、お友達と一緒でもＯＫです。お気軽にどうぞ。
今年から毎月 22 日（にゃんにゃん）の昼下がりを予定しています。

と　き ： 1月22日（月）午後1:00から3:00
ところ ： 環境市民 東海事務所
参加費 ： 無料
申込み ： 必要

昼下がりの発送倶楽部

月末に会員のみなさんに送る「みどりのニュースレター」発送スタッフを募集中です。お気軽に遊びに来てください。
あなたのチカラを貸してください！
時間帯などの詳細はメールでお尋ねください。

と　き ： 毎月月末　昼下がり
ところ ： 環境市民　東海事務所
参加費 ： 無料
申込み ： 必要

問合せ・申込み
環境市民 滋賀事務所
【TEL】 077-522-5837
【E-mail】cefshiga@kankyoshimin.org

グリーンミーティング@滋賀

環境市民滋賀事務所の今後の行事予定について話し合います。アットホームな雰囲気で行う予定ですので、気軽にご参加ください。

と　き ： 1月15日（月）午後12:30から1:30
ところ ： 龍谷大学理工学部7号館　竺研究室
（大津市瀬田大江町 横谷1-5）
TEL : 077-543-5111（代表）
申込み ： 必要

問合せ・申込み
環境市民
http://www.kankyoshimin.org
【TEL】 075-211-3521
【FAX】 075-211-3531
【IP 電話】 050-3581-7492
【E-mail】life@kankyoshimin.org

今回、行事のお知らせはありません。

お知らせ

みどりのニュースレター　価格変更について

11 月から、ニュースレターの価格を 1 部 100 円から 200 円に価格を変更いたしました。最近、ニュースレターを単発で購読希望される方がいらっしゃるのですが、1 部 100 円だと年会費を支払われている会員の皆様との差が大きくなるため、また発行に関わる経費を支えていただくためにも価格を変更させていただきました。
会員の皆様にはこれからも変わらず無料でお届けいたします。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

NEWS!

～環境市民の今、そしてこれからの活動をお知らせします～

とれたて！環境市民

グリーンコンシューマー活動の第一人者による講演会

「グリーンコンシューマーが変えるあなたの暮らし ～もっと豊かに、エコロジーに～」を開催

昨年１月、京都でのエコロジーな暮らしを提案した本、『だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた』を出版しました。私たちはその後の活動展開として、本の内容を多くの人に伝え、さらに新たな地域版ガイドブック作成のための仲間を探し、共に活動していきたいと考えています。そこで、グリーンコンシューマーの考え方や活動を多くの人に知ってもらうため、今回は、グリーンコンシューマー活動を日本に広めた代表の枚本 育生と事務局長の堀 孝弘を講師に、２回にわたって講演会を行いました。

■第１回
「グリーンコンシューマー　買い物を変える　生活が変わる　社会が変わる」
講　師：枚本 育生
（本会代表理事・グリーン購入ネットワーク代表理事）

世論では、日本人の８割から９割が「環境問題に関心がある」と答えています。しかし、環境に配慮する生活は我慢をしなければならないというイメージが強いため、関心はあっても行動はできないという人が多いのが現状です。第１回は、そのイメージを変えてもらうべく、グリーンコンシューマー活動を紹介しました。グリーンコンシューマー活動とは、誰もが毎日する買い物を、環境に配慮されたものを選ぶようにするだけで、商品の売り手や作り手に影響を与えていこうとする取り組みです。誰もがいつでもどこでもできる、という魅力があります。

講演では、旬のもの、無添加の食品を選ぶ、省エネ商品を選ぶといった具体的な方法について、詳しい説明がありました。参加者からは「できることから一つひとつ積み重ねていくことが、大きな結果につながると感じました」など、多くの感想が寄せられました。

■第２回
「一人の力と地域の力をつなげる　市民がつくるエコシティ京都　～ごみ有料化に正面から向き合う～」
講　師：堀 孝弘
（本会事務局長・京都市廃棄物等減量審議会委員・京都市ごみ減量推進会議理事）

京都市の家庭ごみ袋有料化を中心に、日本やヨーロッパのレジ袋削減に取り組むスーパーや、京都から広がった取り組みであるリユース瓶の流通システム、電化製品の省エネ性能をわかりやすく提示した省エネラベルなど、多角的なグリーンコンシューマー活動の事例を紹介し、その考え方や行動が、京都を、そして社会を変える力を持っていることを訴えました。講演終了後、今後の地域での活動に参加したいという参加者の声を聞き、暮らしに根付いた活動を地域の方と一緒に発展させていきたい、その決意が改めて強くなりました。

（文／　グリーンコンシューマーが変えるあなたの暮らしプロジェクトスタッフ　深沢 かおり、田中 友美子、加藤 結理子）
（編集 / ニュースレター編集部　藤岡 洋貴）

MOVIE

オススメ映画情報；「不都合な真実」

「不都合な真実」。英語名は "An inconvenient Truth"。今月20日からロードショーとなるドキュメンタリー映画で、アメリカでも静かな広がりを見せています。環境保護論者で知られるアメリカ元副大統領アル・ゴアのプレゼンテーションを通して地球温暖化の影響を具体的に伝える内容。何が不都合？　それは見てのお楽しみ。今回、この映画の試写会に参加した事務局スタッフに、その率直な感想を聞きました。

「不都合な真実」の一場面

公開予定
2007年1月20日(土)より、ナビオ TOHO プレックス／ TOHO シネマズ二条／ OS シネマズミント神戸他、全国ロードショー！

●画像
(C) 2006 by Paramount Classics, a division of Paramount Pictures. All rights reserved.

「事実を冷静に見つめてアクションを」

温暖化の影響で起きていると思われる現象をデータと写真で紹介していく内容は、映画というより質のよい講演会。危機感をあおるのではなく、今起きている事を冷静に伝えています。そのことがかえって「なんとかしなくては」という気持ちを持たせてくれる。紅葉が遅かった2006年の秋に「お正月まで紅葉が残るんじゃない？」と何気なくかわされていた会話。私たちの身近に起きている「なんか変じゃない？」に気づいたら、あるいは周りの人に気づいてほしいなら、この映画を家族や友人と一緒に観てください。（内田 香奈／事務局スタッフ）

「この映画を見て伝えて広げよう」

アル・ゴアの講演会を映画化した珍しい内容。ハリウッド系の派手さはないし、おもしろおかしくもない。でもアメリカでは草の根からだんだんと上映会場が広がっているそうだ。日本でも温暖化の現状をヴィヴィッドに伝えるツールとしてはよいんじゃないか。これが広がれば日本も捨てたもんじゃないはず。だからみんなで映画を見て、広げよう。そういう参加もあっていい。個人的にはアル・ゴアのプレゼンのうまさに感動。人に伝えるってこういうことなんだな～。必見です。（風岡 宗人／事務局スタッフ）

2007年度みどりのニュースレターのテーマ

「読者増！」

あけましておめでとうございます。
本年もみどりのニュースレターをどうぞよろしくお願いいたします。

さて、ニュースレター編集部では、2007年のニュースレターのテーマを「読者増！」にしました。みどりのニュースレターの読者を増やし、環境市民の活動や考え方をより多くの人に伝えていきたいと思います。

やりたいことがいつも山盛りな編集部ですが、このテーマのもと、今年もいろんなチャレンジをしていきたいと思っています。

ぜひみなさんも、「こんなことをやってみたら」というアイデアがありましたらぜひ編集部までおよせください。アイデアと共にマンパワーも募集しています。一緒に編集部で活動してみたいという方はお気軽に事務局までお問い合わせください。

やってみたいアイデアいろいろ

こうしたアイデアへのご意見もお待ちしています。

- **電話で会員さん直撃インタビュー**
- **みどりのニュースレターモニターの募集**
- **配布先を増やす**
- **２色印刷**
- **メディアミックス**
  （インターネットやラジオと連動した広報）

etc……

●お問い合わせ：環境市民 京都事務局
E-mail　newsletter@kankyoshimin.org

ミーティングカレンダー

'07 1月

●印は京都事務局までおたずね下さい。

8日(月)	SKIP　午後4:00から
10日(水)	ニュースレター編集部　企画 午後6:30から
11日(木)	東海　環境市民nagoya cafe 午後7:00から9:00
15日(月)	滋賀 グリーンミーティング 午後12:30から1:30
	ニュースレター編集部　編集日 午後6:30から
19日(金)	SKIP　合宿●
20日(土)	SKIP　合宿●
17日(水)	みつたまくらぶ　午後7:15から9:00
24日(水)	ニュースレター編集部　校正日 午前10:30から
30日(火)	自然住宅研究会 午後7:00から
31日(水)	ニュースレター発送日 午後1:00から

ぷち旬のメモ

あなたの心に季節の窓を。
旬の話題と暮らし方のヒントをお届けします。

● VOL・19●「部屋の空気をきれいに」

家族のいる温かい部屋に入ると、中の空気がなんだかよどんでいるように感じます。寒くなると窓を閉め切ってしまい、部屋の中の空気はどんどん汚れていきます。通風性のよかった昔の家と違い、今の家は機密性が高くきちんと換気をしないと空気がこもってしまいます。部屋の空気は人の呼吸や、カビやダニ、湿気による結露などが原因で汚れていきます。また建材に含まれる化学物質が部屋の中にたまっていくとシックハウス症候群の原因にもなります。寒い季節にも積極的に窓を開けて、きれいな空気を部屋の中に取り込むことをおすすめします。

（文／ニュースレター編集部　安江 晃子）

講演のご案内

全国に講演に出かけています。お近くに来た際にはご参加ください。　※詳しくは京都事務局へお問い合わせ下さい。

■12日(金)京都市/レジ袋削減
■17日(水)香川県善通寺市/グリーンコンシューマー
■20日(土)尼崎市/環境首都コンテスト、グリーンコンシューマー活動からみたごみ減量の先進的取組み
■22日(月)飯田市/環境首都への道

地球のなかま

地球に暮らす生き物との出会い
センスオブワンダーで心豊かに

センスオブワンダー…
アメリカの作家であり、海洋生物学者でもあったレイチェル・カーソンが、著書「センス・オブ・ワンダー」の中で伝えた自然を感じる感性

第17回　イノシシ ――人の近くに暮らすけもの【前編】
ハンガリーでイノシシに出会う

文／ニュースレター編集部　千葉 有紀子

○イノシシの解体に出会う ――ハンガリーの村で

夏の早朝、目の前をイノシシが走っていった。正確には、イノシシを縛り付けた車が通って行った。思わず後を追って走る。民家の前に車が止まり、イノシシが降ろされている。かなり大きい。人が7、8人集まっている。カメラをかざして、写真を撮らせて欲しいと合図を送ると、入っておいでと言ってくれた。集まっている人の中に、昨日泊まっていた家の子どもの姿もある。

目の前でどんどんイノシシが解体されていく。まず、のど元にある頸動脈を切って血を流す。この過程を血抜きといい、これをしないと、臭くて肉が食べられないそうだ。その後、内臓などの腐りやすい部位を切り取る。すかさず、子猫たちが寄ってくる。可愛いなりをして、内蔵をむさぼり食う様子にはさすがに少しぞっとした。食べ終わった猫たちはすました顔をして、流れている血をぺろぺろなめている。しかしよく考えてみれば、命が廻っているだけなのかもしれない。

頭の骨がはずされ、あばら骨がはずされ、だんだんイノシシが肉になっていく。その過程は初めて見る私にとっては衝撃的であったが、なかなか見られるものではないので、いい経験になった。イノシシが肉に形を変えてしまうと、そのあとは掃除をして、朝食となった。なんでもないというより、達成感に溢れた様子の朝食風景にほっとすると、同時にいつも肉というのは命を頂いているのだという意識をもたなければと思った。

○子ども達にも命をいただく意識を

私はどういうわけだかハンガリーがとても気に入っていて、何回か行っているのだが、その村は首都であるブダペストから急行バスでほんの3時間ほど。その村には汽車も通っていない、公共交通はバスのみ。都会に近い田舎である。前の日の夕方に、私はその村に着いて、興味津々で村を散策していた。その日でブダペストに帰るつもりだった予定を変更して、もう少しその村に留まることにした。泊めてもらっていた家の子どもに「もう何日かいようかな」と言うと、「じゃあ、お母さんに言っておくよ」とニコニコ笑う。ハンガリー語のできない私にとっては、小学校から英語を授業で習っている子ども達は強い味方となる。「よくこういうの（解体を）手伝うの？」と聞くと、えっなんで聞くの？　というような反応が返ってきた。

朝食をごちそうになったあとに、家を案内してもらう。そのお家の主は狩猟が趣味のようだ。全部俺が捕ったのだと、自慢しながら、いろんな剥製や、毛皮を見せてくれた。飼っている豚や、鶏も見せてもらった。あとでわかったが、泊まっていた家も同じように豚を飼い、鶏を飼い、食事に出てくるベーコンやら卵やらは全部自家製なのだ。隅々まで無駄にせずにいただいているというのが感じられる。ふとみると、子どもが豚小屋の掃除をしている。お手伝いをしているという感じではない。するべき当然のことをしている、そんな感じなのだ。イノシシの解体にしても、自分も食べるのだから、手伝うのは当然なのだろう。

○ハンガリー人のイノシシ観

ハンガリーといえば、パプリカとかフォアグラが有名。工業などの産業も盛んだが、農業とともに牧畜も盛んなところである。山に接している辺りでは、狩猟も盛んである。ドイツ人などが、キャンピングカーでやってきて、狩猟宿に泊まっているのによく出会う。

またある時、ハンガリーの村の酒場で飲んでいると、男の人が二人入ってきて、「イノシシを捕った。お祝いだから、みんななんか飲んでくれ、俺たちが奢るから」とそこにいる人みんなに酒を振舞った。その内の一人は私もよく知っている人だ。仕事が終わった夕方、ゲートルを巻いて、背中に銃をくくりつけ、バイクに乗って出かけていく。そうか、おめあてはイノシシだったのか。乾杯した後、いなくなったなと思っていたら、血抜きと内臓出しをしていた。酒場の前の道で、である。うーん、大胆というか、なんというか。殺して食べるという行為は残酷なようだが、どの肉にせよ、それは同じ事なのだ。

ありがとうと感謝の念を持ったことがあったかと自分に問うてみた。ウシにしろ豚にしろ、イノシシにせよ、命をいただいて食べ、私たちが生きながらえているのは紛れもない事実なのだ。日本に帰ってきて、感激してその解体の様子を撮った写真を人に見せたら、気持ち悪がられて、私はすっかりしょげてしまった。

※来月号では日本のイノシシについて考えます。

連載

青き星 碧い風

第十回 日本社会の根本的病理

文・写真／環境市民代表理事 枚本 育生

最近、痛ましい事件が続いている。親殺し、子殺し、少年による理解不能な殺人、学校での児童の殺傷、イジメによる自殺、ホームレスの殺傷……。このような事件は、それを起こした加害者やその被害者だけの問題ではないことに、既に多くの人は気づいているだろう。ただ、それが世間や新聞、テレビでよく言われているような、学校、教育、家族のあり方の問題、だけとは思えない。現在の日本社会にある根源的問題が、その本当の原因ではないだろうか。その原因を探るために、私たちの社会の基本的原理となっている競争による物質的繁栄がどのような人間を作り出していくのかみてみよう。

私たちの社会で競争といわれているのは、互いに尊重し思いやりながら切磋琢磨することを意味するのは極めて稀である。ほとんどの場合は、他者を蹴落としてでも、自分が勝ち残ろうとすることを意味している。さて、経済活動が盛んになるにつれて、人間社会での競争がより激しくなった。競争原理と科学技術の発達によりモノが次から次に大量に生産されることにより、人間に物的豊かさをもたらしたが、それとともに「人より多くのモノが欲しい」という心理が生まれることにもなった。そして、たくさん所有したい、他人より多く所有する、それが「豊かさ」であるという社会的心理が形成されていった。いったんこのような社会システムと社会的心理が形成されると、それに合わせた人間を社会は生み出すようになっていく。学校も、人間として質の形成などはせず、競争を助長し社会に適合した人間を生産する場となっている。人間は生まれながらにして、多くモノを所有することが幸せで、そのためには多くの金が必要であり、競争することは必然である、というような考えを当然、とするようになっていった。

20世紀後半、より多くのものを所有したいという欲求は、より早く消費したいという欲求へと変化した。科学技術の飛躍的発展と生産活動への直結が、それを可能にした。愛車を長く大切に使うというより、より新しいクルマに買い換えること、袖も通さないのに次から次へと洋服などを買い続けている（またできることならそのようにしたいと願っている）ことが、ごく当然と受け止められるようになった。今日多くの人は、良いモノを持つ、多く持つことに幸福を感じるのではなくで、また持ったモノへの愛着心さえ、持った瞬間に消えていき、より早くより新しいものを次から次へと消費していく、その瞬間にだけ幸福を感じるようになってしまっている。まさに消費こそ幸福である。

「消費が幸福」それがモノだけではなく人間関係にまで広まっている。日本社会では、深い人間関係を築くことが苦手な人が増えてきていると多方面から指摘されている。人とのつながりを欲しながらも、お互いに自分が傷つかないよう距離を保って接することが増えている。浅いつきあいの友人を多く持つ、そしてまた新しい友人を持ち、少しでも傷つきそうになったら逃げ出して、また新しい友人を持つ、そんな人が若年層を中心に増えている。モノとのつきあいと同じように。恋愛関係でさえ、本当に心から深いつきあいをするのではなく、傷つくことを恐れて、心理的には浅い関係を繰り返す、つまり恋愛も消費の対象になってしまった。

さらに、価値を金銭で量る社会、競争を基本とする社会は、人間も自分自身をより高い機能をもった商品として見せる必要を生み出した。大学は、真理を追及する場でもなく、自己の本質的な能力を高める場でもなく、この社会が求める良い機能を持った、良い商品としての人間を出していく機関になった。自分をいい商品に見せる、ということは他人にもそれを求めることになる。また、良い機能をもった、良い商品とは、実務遂行能力を持った者を意味し、実務をすすめる知識と能力は必要だが、人生の知恵、感性、理性は必要とされない。実務能力さえあれば、精神的な発達は考慮外で、自らが実行に携わっていることがこの社会の将来にとって、いいかどうか判断するのではなく、ただ遂行することに長けた人たちがエリートと呼ばれるようになってしまった。理性や感性が磨かれない社会に、他者を思いやる能力や、より良い社会を築くために関わろうという意思が育つことはない。そして自分より劣った商品とみなす人間や、自分達と同質化しない人間を排除する。

このような社会的病理が、痛ましい事件を生んでいる根本的原因ではなかろうか。その社会的病理が同時に、自然との関係も阻害し、地球規模の環境問題を生み出し、人類を滅亡の危機にさらそうとしている。

環境問題の解決、持続可能な社会を築くために必須とされている、「社会経済システムの変革」は、人間関係をまっとうなものにするためにも必須となっている。

参考及び引用

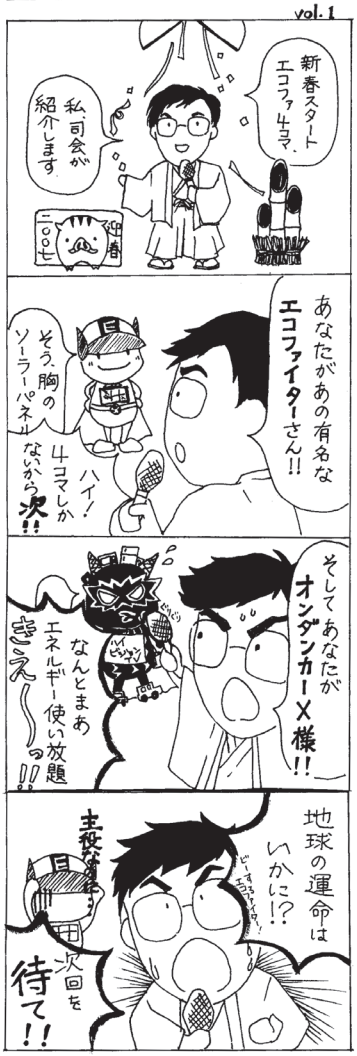
E・フロム『生きるということ』紀伊国屋書店、枚本育生『グリーンコンシューマー 世界をエコにする買い物のススメ』昭和堂

この連載の奇数回では、世界や日本の豊かな自然を描き、偶数回では日本社会やNGOへの提案を載せていく予定です。

新コーナー

みどりの瓦版

SKIPの！エコファイター劇場 vol.1



イラスト：かわみん

環境市民からのお知らせ

みどりの英会話（Green English）木曜午前クラス閉講

環境問題について英語で語り合い、理解を深める「みどりの英会話」（木曜午前クラス）が、最後のひとりの生徒がいなくなることに伴い閉講となりました。

最後の一人だった生徒で会員の見神誠子さんは「14、15年くらい前、みどりの英会話の記事を新聞で読み申し込んだ。その時はすごい人気で、2年間順番待ちをしてやっと入ることができた。ここまでよく続いたな〜と思う。ブリジットさんとは先生と生徒という関係だけでなく、一緒に祇園祭に行ったり、舞踏とか狂言といった趣味についてのよい話し相手になった」としみじみと語っていました。見神さんは今後は翻訳の勉強を通じて英語と接していきたいそうです。

このクラスの先生を9年にわたって務められたブリジット・スコット（指圧療法士、舞踏ダンサー）さんは「楽しかった。誠子さんを通じて昔の日本こと、戦時中の話などを学ぶこともできた。教材探しを通じて、環境に関する情報を得る機会にもなった」と話していました。ブリジットさんはこれからは指圧の仕事をもっとがんばっていきたいとか。

最後にお二人からのメッセージをいただきました。「環境市民は環境首都コンテストなど全国的な活動をしているけど、外国人向けの情報が少ないように思う。国際都市・京都で活動するNGOとして、もっと外国人向けの情報発信をしてほしい。環境NGOとして英会話は必須のスキル。もっと自由きまま（freely）にボランティアと外国人が集える場所になればいいな」。

ブリジットさん、見神さん、長い間ほんとうにおつかれさまでした！（木曜午後クラスはこれまで通り開講されています）

データで見る環境市民

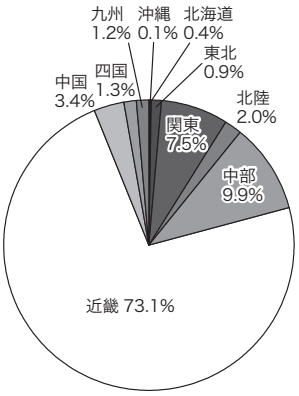
データファイル.1　地方別会員数

環境市民の会員を地方別に分けてみました

環境市民の会員は12月7日現在758人（休会者38人含む）で全国に散在しています。近畿地方在住者が73・1％（553人）を占めています。東海事務所のある中部地方は9・9％（75人）です。意外に多いのが関東地方で7・5％（57人）を占めています。その中には近畿で会員になり、関東に引っ越した後も会員を続けられている方も多くいます。最近では関東でも活動したいと環境市民事務所の設立を望む声も聞こえて始めています。会員が全くいないのは青森、新潟、長崎、大分、宮崎の5県となっています。

環境市民が2003年度に策定した中期計画では2007年度までに会員数3000人を掲げています。現在、少しでも目標に近づけようと会員拡大キャンペーンや社会的影響力のあるリーディングプロジェクトの実施などに努めています。皆さんもぜひ会員拡大にご協力ください。会員が増えれば環境市民の基礎体力が増し、社会的影響力のある活動展開につながります。

地方別会員数の割合
（2006年12月現在）



ニュースレターに関するご意見・ご感想は、編集部までメールかFAX、郵送でお送りください

E-mail：newsletter@kankyoshimin.org
FAX：　075-211-3531
〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階
NPO法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛

【HPからも投稿できます】
http://kankyoshimin.u_me.jp/modules/ybb.s

今月のありがとう！

目立たないところでも、お力を貸してくださった方々に、感謝をこめて―。

【ニュースレターの発送】
梅原 裕／川本 充／木村 幸子
西田 愛／三谷 斉／宮坂 正也

【環境フェスティバル】
上田 まりえ／川本 充／酒匂 日美子
山下 年文／山本 光則／吉田 佳代
（五十音順 敬称略）

毎月ボランティアのみなさんの手で折られてみなさんの手もとにとどきます！

新会員の方々・寄付　11月15日から12月12日

新会員
- 内海 清慈
- 酒匂 日美子
- 平河 尭之
- 宮坂 正也
- 山本 豊志

寄付
- 大和ハウス工業株式会社社員の皆様
- NPO市民活動見本市おたのしみ抽選会
- 下村 委津子・枚本 育生・堀 孝弘
- 山田 岳

……ありがとうございました！

新入会員＊INTERVIEW

■内海（うつみ） 清慈（きよじ）さん（愛媛県出身）　12月4日入会

環境市民という親しみやすいネーミングに惹かれ、入会しました。先月滋賀で行われた「水鳥観察会」のような、自然と触れ合うなかで環境意識を高めていけるような企画に携わっていけたら、と思っています。

1／環境市民

――かんきょうしみんぶんのいち――　環境市民の会員を紹介します

第19回　田中 友美子 さん

立命館大学4回生。1年前にインターンシップ生として環境市民に参加。現在京都エコ暮らし応援プロジェクトで活躍中。

思いから行動へ―。これが田中さんの信条だ。抱いた疑問を大切にして、やりたいことに突き進む。向上心を常に持ち、感じたことを基軸に次々と新たなことに挑んでいる。

●胸に秘めた思い

田中さんと環境問題をつなげたものは、「好きな風景やモノを時間が経っても自分の大切な人に教えてあげたい」という思いだ。

この思いは、田中さんが大学二回生の頃、出身地である、琵琶湖・水郷・田畑などの自然と古くからの町並みが調和した近江八幡市の風景条例制定のためのワーキング委員会に参加した動機にもなった。自分の好きな風景が失われていくことに危機感を感じ、景観条例制定に向けて、景観にそぐわない看板や住宅を今後どう対応していくかなどを市民の立場から発言した。

●環境への関心、そして行動

大学入試で書いた小論文でも、江戸時代の環境問題について取り上げるなど、環境市民に加わる前から問題意識の高かった田中さん。1回生のころから環境科目の授業を取り、イギリスのCAT※1に研修を受けに行くなど、入学してからも理解を深める努力をした。その後「実生活で役に立つことをしたい」と考え、環境市民で活動をスタート。生活と深く関わるグリーンコンシューマーについての活動を中心にした。

グリーンコンシューマーのおかげで生活がシンプルになりました。

●新たなステップ
～知ることから伝えることへ～

就職活動をしていた昨春ごろまではしばらく活動をお休み。去年の夏に活動を再開した田中さんを待っていたのは、昨年11月に開催した2回連続講座「グリーンコンシューマーセミナー」※2の企画だった。学生生活で積極的に企画や運営に携わったことはなかったが、自分の経験を伝えるいい機会になると思って企画に加わった。田中さんは、この企画を通して、環境に興味はあるけれど実際に行動に移せない人たちにグリーンコンシューマーを知ってもらいたいと考えていた。講師の枚本代表理事や堀事務局長との打ち合わせや司会をしたことを通して、あいまいだった理解が深まり、自信になった。これまでは自分の理解を中心に考えていたが、伝えることの楽しさを知った。

●グリーンコンシューマーを身近な人へ

田中さんは幼い頃から、マイバッグを使ったり自宅で野菜を育てて旬のものを食べたりするなど、グリーンコンシューマーという言葉を知らずともグリーンコンシューマーの考え方が根付いていたのだという。そして、環境市民で活動を始めてからは、家族に働きかけて環境にやさしい生活をさらに徹底した。

そんな家庭に育ったため、幼い頃からグリーンコンシューマーに触れることが大切だと考える。「結婚や出産という人生の転換期にある友人に教えてあげたい」と意気込む一方で、まずは自分自身が便利な生活に甘えないようにしたいと戒めている。

（聞き手）ニュースレター編集部　吉田 佳代

※1　CAT　Center of alternative technology の略　環境に配慮した生活を提案するテーマパークのこと
URL　http://www.cat.org.uk/index.tmpl?refer=index&init=1P　※2　P.10 とれたて！　環境市民参照

編集部（五十音順）

有川 真理子　風岡 宗人　久保 友美
千葉 有紀子　寺西 孝一郎　羽野 和幸
藤岡 洋貴　安江 晃子　吉田 佳代

下司 智子（デザイン・レイアウト）

編集後記

今回初めて編集作業を経験しました。執筆者の方に書いていただいた原稿に目を通し、自分なりの編集案を考える。そして、執筆者の方と打ち合わせを重ねる中でお互いのイメージをすり合わせ、1本の記事にするという一連の流れを通して、プロデューサーとしての編集の面白さや、コミュニケーションの大切さを実感できました。（ニュースレター編集部　藤岡 洋貴）

次号予告　みどりのニュースレター No.165　2007年2月号　現在編集中！

特集：待ったなし！温暖化防止（仮）

京都議定書発効から2年。増え続ける CO_2 。どう対策をとればよいのか議論します。

プロジェクト寄付のお願い

この度、環境市民ではさらに積極的に自主活動を行っていくため、下記のプロジェクトの中から寄付先を指定し、金額を自由に選べる「プロジェクト寄付」を募ることにいたしました。
みなさんからのご支援のもと、効果的かつ継続的に活動を行っていきたいと思いますのでぜひ寄付にご協力ください。

●指定できるプロジェクト一覧

①日本の環境首都コンテスト…自治体の環境施策をすすめ、持続可能な地域社会を創ります
②日本版 SHOPPING for a BETTER WORLD 作成プロジェクト…市民が考える CSR の観点からメーカーを変えていきます
③びんビールでいこうキャンペーン…リユースびんを広め、3R（Reduce-Reuse-Recycle）を正しく反映した社会システムを創ります
④モルディブ・プロジェクト…温暖化の危機にさらされているモルディブに太陽光パネルを設置します
⑤無指定寄付…特に指定がない場合は、優先度の高いものから使わせていただきます

●寄付の方法

郵便振り込み用紙の通信欄に、希望するプロジェクト（または無指定）をご記入の上、払い込み人住所氏名欄に、氏名、郵便番号、住所、電話番号をご記入の上、下記振り込み先まで郵便局にてお振り込みください。（振り込み先）　郵便振替　口座番号　01020-7-76578

環境市民に入会しよう！

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください！

会員特典

□月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
□行事などの参加費を割引させていただきます。
□会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。
□環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

会費の振込み方法

（1）郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、「年会費＋入会金」をご入金ください。（※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要）

（2）ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念としてポストカードをお届けします。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	―
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	―
特別助成会員	50,000円	―
終身会員	一括　80,000 円	
営利法人会員 *	1口 50,000 円	50,000円
非営利法人会員 *	1口 10,000 円	2,000円

*年会費は一口以上

～あなたのご支援が環境市民を支えます～

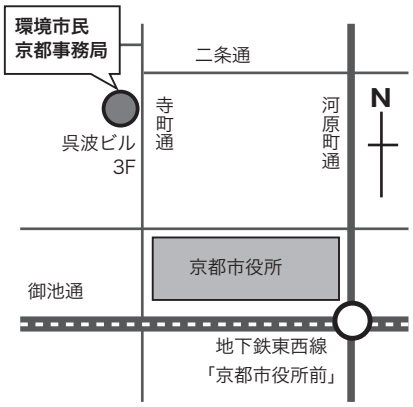
♥ **寄付をする…**　住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先　【郵便振替】口座番号：01020-7-76578　加入者名：環境市民

（発行）　**特定非営利活動法人　環境市民**　（代表）枚本 育生　（発行人）堀 孝弘
【TEL】075-211-3521【IP 電話】050-3581-7492【FAX】075-211-3531
【E-mail】life@kankyoshimin.org【URL】http://www.kankyoshimin.org
〒 604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル呉波ビル 3 階　（月から金　午前 10:00 から午後 6:00）

環境市民 東海事務所
【TEL&FAX】052-521-0095【IP 電話】050-3604-6182
【E-mail】tokai@kankyoshimin.org【URL】http://www.kankyoshimin.org /tokai/
〒 451-0062　愛知県名古屋市西区花の木 1 丁目 12-12　花の木 AOI ビル 4 階

環境市民 滋賀事務所
【TEL】077-522-5837【E-mail】cefshiga@kankyoshimin.org
〒 520-0046　滋賀県大津市長等 2 丁目 9-12 竺文彦気付



本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。
「環境市民」　登録商標 第4809505号

この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して古紙配合率100%再生紙に、大豆油インキで印刷しました。
印刷：（有）紀書房

環境市民
Citizens Environmental Foudation
21 世紀
地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに